

## 盛岡市子ども科学館貯水槽洗浄消毒作業仕様書

各槽の標準清掃作業は以下に準ずるとおりとする。

- 1 清掃作業は受水槽（22.5 m<sup>3</sup>）、次に高置水槽（6.25 m<sup>3</sup>）の順に実施する。
- 2 受水槽、高置水槽のマンホール周辺を清掃する。
- 3 FMバルブ、ボールタップ又は井戸ポンプ等を停止し、揚水パイプは手動運転をし、高置水槽満水後停止する。
- 4 可搬式排水ポンプにより排水をし、同時にポータブルファンにて槽内換気を行う。
- 5 排水完了と同時に第一回高圧水洗浄及び洗浄汚水の排水を行う。
- 6 第一回洗浄終了後、槽内付属機器の点検を行う。
- 7 第二回高圧水洗浄及び残水排水を行う。
- 8 100ppm 次亜塩素酸ナトリウム溶液噴霧による第一回消毒を行う。
- 9 30 分間以上放置後、第二回消毒を行う。
- 10 完全排水後 30 分間放置し、水張りを開始する。
- 11 高置水槽清掃作業を受水槽に準じて実施する。ただし、FRPタンクの場合、第一回洗浄はスクラッピングパットによる洗浄とし、第二回洗浄は広角ノズルを使用し、又は圧力を 25 kg/cm 程度に下げて実施する。
- 12 機器類の復旧調整、点検を行い、揚水ポンプ操作盤等、自動制御装置の作動状況を確認する。
- 13 異物侵入防止処置等の点検、給水系統のエア抜き、赤水抜き、槽内及び給水栓の簡易な水質検査、残留塩素濃度測定を行う。

その他の使用については、以下のとおりとする。

- 1 作業員は、6 ヶ月ごとに一度健康診断（検便）を受け、適格である者を従事させる。
- 2 作業中、槽内各部、機器類等に異常を認めた場合は直ちに作業を中止し、施設管理者に報告して、協議の上その指示を仰ぐ。
- 3 水質検査及び残留塩素測定の場合、作業の都合により翌日又は後日採水あるいは測定することも可とする。